

運営推進会議記録

開催 日時	平成29年9月21日（木）	場 所	小山市ふれあい健康センター 学習室
	14時00分～15時00分		
参加事業所	・デイサービスセンターアカシヤ（地域密着型小規模通所介護・通所予防介護事業所）		
参加者	○デイサービスセンターアカシヤ管理者 齊藤		
	○デイサービスセンターアカシヤ生活相談員 小島		
	○小山市高齢生きがい課 足立様		
	○高齢者サポートセンター小山 稲葉様		
	○外城地区自治会会長 加藤様		
	○民生委員 中村様		
	○デイサービスセンターアカシヤ利用者 河野辺様		
	○デイサービスセンターアカシヤ利用者家族 吉田様（欠席）		
活動内容及び回数等（敬称略） ※別紙 運営推進会議資料参照			
1. 開会あいさつ			
小島） ただ今から平成29年度アカシヤ運営推進会議を始めます。			
2. 管理者挨拶			
<p>本日は第3回デイサービスセンターアカシヤの運営推進会議にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。昨今、福祉施設での様々な事件が絶えず、法人として、施設としての運営サービスが見直されていくなかで、さらにクリーンな運営を確保していかなければならないところであります。そのような中で、地域の皆様方と密接にかかわっていくために、この運営推進会議においても中身の充実したものにしたいと考えております。施設の運営その他、御意見等何かありましたら宜しくお願い致します。</p>			
3. 協議			
1) デイサービスセンターアカシヤの活動内容報告及び評価・助言等			
小島） デイサービスセンターアカシヤ運営推進会議資料読み上げにて説明 御意見・御質問等あれば宜しくお願い致します。			
2) 質疑応答、御意見			
中村） 私個人のことなのですが、こういった会議に出席させていただくのは初めてなのですが、こういったことは毎回実施しているのですか。			
小島） 6ヶ月に1回以上の頻度で開催するように決まっております。			
中村） 会議に出席できないかとの連絡があり、時間もあつたので来てみたのですが、実際こういったことに全く関わっていないのです。ただ民生委員をやっていて、いきいき（いきいきふれあいセンター）で活動しているというだけで、何もできないのですが大丈夫なのですか？連絡があつたときもそうお伝えして、大丈夫ですと返答いただいたのですが。			

齊藤) 私たちの施設が地域密着ということで、地域の方、小山市の方と密接に接するためにこのような会議を開催しております。

中村) 他のデイサービスではやっていないのですか？

齊藤) 地域密着型の事業所であれば回数に違いはありますが、実施しています。

足立) 会議という名前がついていますが、重苦しいものではないです。先程からあります地域密着というところで、介護事務所が地域のご高齢の方の「開かれた窓口」になればとの考えで、地域の民生委員の方や自治会の方をお招きしてお話しをするものです。特に介護の知識があればということでは全くなく、こういった事業所がここにあるということを知っていただく機会していただければと思います。また、先程お話をあった半年に1回という開催頻度も、様々な事業所に開催のご協力をお願いしているところではあります。地域密着といわれている事業所は定員が18名以下の限られた人数で地域に根差した事業所に関しては、まず事業所を知っていただく機会として半年に1回開催されているところです。

中村) 市内だけでも、あちこちにたくさんデイサービスがありますよね。

足立) かなりたくさんありまして、小山市内の地域密着型の小規模デイサービスだけで約41カ所あります。

中村) 病院と併設されているところなどもありますよね。

足立) もちろんあります。病院と併設されている所などですと、リハビリに特化した介護サービスが多いです。

中村) 今回こういった会議のお話しをいただいて、いきいきセンターや民生委員の集まりがあったときに話をすると、誰も知っている方がいなかったのです。なので、どれぐらい（人が）集まるのかなと思っていました。

足立) 次回の集まりなどでお話しいただければ、ありがたいと思います。

齊藤) 地域によっては出席人数も変わってくるかと思います。

足立) 確かに知っている方もいらっしゃるかもしれませんが、知らない方もまだまだたくさんいらっしゃいますよね。そういった方たちにも知っていただくため、何か集まりなどの際には話題にのせていただけるとありがたいです。

資料を見ると利用者様がどんどん増えていきますよね。8月は（延べ人数が）193名いらっしゃったのですね。4月に比べてすごく伸びていると思いました。

小島) 4月から8月にかけて新規利用者様が2名増えました。また、週に2回利用していた方が週3回の利用となるなど、利用回数が増えた方もいらっしゃいます。

足立) レクリエーションは普段こういったことを行っているのですか。

小島) 卓上ではトランプやカルタなどのカードゲームを、また、集団体操後にボール投げや輪投げなどを実施しております。

中村) この建物の、向かって右側がデイサービスなのですよね。

齊藤) そうです。小山市ふれあい健康センター（以下：健康センター）に併設されている施設になります。

小島) 利用者様代表として河野辺様から何かございますか？

河野辺) 職員の方皆さんチームワーク良く支援して下さっています。送迎もしてもらって、まじめな方たちばかりで本当にありがたいと思っています。

足立) デイサービスには週に何回くらい通われていますか？

河野辺) 私は週に2回来ています。ガーデンの同じところからも何人か来ていますよ。

小島) ガーデンというものについて、当法人内に老人ホームがあり、そちらの入居者様になります。

中村) 出井にあるところですよ。

齊藤) そうです。ありがとうございます。

中村) あちらにもデイサービスはありますよね。あるけれどもこちらにいらっしゃっているということですか。

齊藤) はい。そうです。

小島) ちょっとした外出にならないかということで担当の支援員から連絡があり、利用に至っています。

中村) それはいいですね。では近くの方たちばかりではないということなのですね。

齊藤) 近くの方たちばかりではないのですが、小山市内の方を受け入れております。

足立) 地域密着型の事業所になるので、利用者様の受け入れ範囲が限定されています。

中村) 市内といっても遠かったりしますよね。

小島) 現在の利用者様のたまかな分布としましては、間々田・乙女地区から、小宅地区の方に来ていただいております。

中村) 小宅地区にもたくさんデイサービスなどがありますよね。それでもここがいいと通ってくださっている方もいるのですね。かえって近い所よりも、慣れている所の方がいいのでしょうか。

小島) 実際にお知り合いの方がアカシヤに通っていて、「いい所だよと聞いたから私も利用したい」とおっしゃっていた方もいらっしゃいました。

足立) ロコミもあったのですね。

中村) 「こじんまり」とやっている印象がありますね。

齊藤) 小規模事業所として「こじんまり」としている所がいい所なのかもしれません。

足立) 小規模の方が職員さんのケアが行き届きやすいという利点がありますよね。同じ地域密着型の大規模事業所さんですと利用者様が50名というところもあります。

中村) ここは職員の数が少ないように感じるのですが、お休みがいてもこの人数で間に合うのですか。

齊藤) 法律上の基準は満たしています。

小島) お休みがいても、怪我や事故を起こさないようにとみんな慎重にはなりますが、非常勤の看護師がお休みですとより気を引き締めて業務を行っています。

齊藤) 現在の利用者様の状況を参照して頂けると、要介護1や2など介護度がどちらかという低い利用者様が多く、現状の人数で対応ができている理由の一つだと思います。

小島) 緊急の場合やどうしても間に合わないという場合は、健康センターの職員にも手伝っていただきながら業務を行っています。

足立) 併設されている所の強みですね。

中村) ふれあい健康センターがあることは知っていましたが、こういうデイサービスがあるのは知らなかったです。

足立) 私も今日初めて伺ったのですが、「右側にあったんだ」という感じでした。

齊藤) 意外と気が付いていただけないのは確かです。

中村) 「お風呂に入れる、入りに行っている」という話は多く聞いていたのですが、それは健康センタ

一の方で、それとは別にこういったところがあるというのは知りませんでした。

小島) 健康センターのお客様が「見ていってもいい？」と見学に立ち寄って下さることもあります。

齊藤) アカシヤの看護師が出勤の時は、健康センターの方のお客様からの健康相談の対応やバイタル測定なども行っております。

稲葉) 先程看護師さんのお話しもあったので気になったのですが、例えば、利用者様の体調に急変があった時のためのマニュアルは整備されているのですか。

齊藤) 整備はされていますが、看護師在籍の際は看護師の指示で対応しています。緊急の場合は救急搬送が多いです。

稲葉) 看護師さんが不在の場合はどうですか？

齊藤) 救急搬送を依頼します。また、並行して看護師にも連絡を取り、救急隊到着までの指示を仰ぎます。また、法人本部のある出井地区に、提携している診療所がありますので、当施設の看護師に連絡が付かない場合、そちらに連絡を取り、指示を仰ぎます。

稲葉) そういった連携がとれているということですね。

足立) 先日あった台風の影響などはどうでしたか。

小島) 施設としては大きな被害はなく、利用者様2名利用に対して職員も2名配置してありましたので、送迎も2名で何うなど対応しました。事故や怪我はないと報告も受けています。

足立) 良かったです。また、川が近いので、洪水なども気を付けたいですね。以前にあった洪水災害で立木地区の被害が大きかったのですが、こちらの方は大丈夫でしたか。

小島) 施設のすぐそばに貯水池のような窪みがあり、当施設は高台になっていることから、当時も被害はなく、無事だったのですが、坂の下の第2駐車場まで水があふれてしまい、水が引いたら泥だらけだったという事はありました。その時も、デイサービスの送迎や業務に関しては怪我も事故もなく、利用者様からのお休みの連絡等もありませんでした。

足立) 地震のときもそうですが、ここは健康センターが併設されているデイサービスなので、何かあったときは協力できる職員さんがいていいと思います。同じような小規模のデイサービスだと、デイサービスだけなので、何かあった時にはその職員か近くに住んでいる方たちの協力がないと厳しいです。こういった会議の場で施設のことを知っていただいて、いざというときには助けていただけるような機会になればいいなと思います。

アカシヤのお食事はこちらで調理された物なのですか？また、メニューはどうやってかんがえているのですか？

小島) そうです。こちらで手作りのものを提供させていただいております。メニューに関しましては、委託業者（エイヨウシヨク様）の栄養士に考案していただいて、こちらで確認をし、変更点や追加点を連絡し、訂正し直していただいております。予定献立を見ただけでも美味しそうなメニューが並んでいて、いつもありがたいです。また、「温かいから美味しい」と利用者様にも好評をいただいております。利用者様代表として河野辺様はいかがですか？

河野辺) こちらの食事が美味しいから、ここに来るのが楽しみです。これからも美味しいごはんをお願いしたいです。

足立) ごはんが美味しいのは楽しみですよね。

齊藤) ありがとうございます。

小島) アカシヤとしましても、健康センターと併設していることと合わせて、食事が美味しいことも

強みとしていますので、とてもありがたいです。

中村) 先程定員が18名とお話しがりましたが、まだまだ余裕があるということですね。

齊藤) 小規模施設は18名以下ですが、当施設は定員10名とさせていただいております。

小島) 1日の定員が10名ですので、利用したいという希望者の方がいらっしゃれば、10名に満たない日を勧め、調整しています。

齊藤) 定員10名とはいえ地域密着の施設ですので、先程のお話しにもありましたが、災害等があった時には、地域の方にもご協力をお願いしたいところでもあります。

加藤) 私などは施設の前の坂を上ったすぐのところに住んでおりますから、必要な時がありましたら、呼んでいただければ駆けつけますので。

齊藤) よろしく願い致します。

中村) 資料にある個別レクリエーションや集団レクリエーションはどのようなことをやっているのですか？

齊藤) それはアカシヤの方で行うものですね。

中村) 健康センターでやっているのですよね？

齊藤) いいえ、違います。健康センターで行っている活動は今回の会議の資料に載っているものとは異なるものです。

中村) 健康センターの活動は入っていない？

小島) アカシヤと健康センターの活動はまた別のものになります。

齊藤) デイサービスセンターとして地域との交流を図るという面で、日本舞踊やよさこいボランティアの方々に来ていただいています。

中村) アカシヤは、市内あちこちにある「いきいきふれあいセンター」にあたるのですか？

小島) また別の施設となります。

中村) 別なんですね。

4. 小山市から

足立) 感染症や食中毒について注意していただきたい点や厚労省からの通達など資料を配布しますので、参考にして、万が一食中毒などが起きてしまった場合は市に連絡を頂きたいと思います。その上で感染源など原因追及をしてその後の予防や対策を考えたいと思います。

齊藤) 速やかに対応したいと思います。

5. 次回予定

齊藤) 次回開催は2月ごろを予定しておりますので、ご協力いただければと思います。

4. 閉会

小島) 以上で運営推進会議を終了とさせていただきます。有難うございました。

事業所名	社会福祉法人 洗心会 デイサービスセンターアカシヤ	記録作成日	平成29年10月1日
		記録作成者	生活相談員 小島 成美